

献 辞

松水征夫先生は、平成21年3月に広島大学教員としての定年を迎えられ、広島大学をご退職された。同時に、本学における研究・教育ならびに大学運営、さらには学界発展へのご功績がきわめて顕著であると認められ、名誉教授の称号を授与されている。われわれ広島大学経済学会でも、長年にわたる松水先生の学部および研究科に対するご貢献に深甚なる謝意を表し、ここにご退職記念論文集を刊行することとした。

松水先生は、昭和43年3月に広島大学政経学部をご卒業後、同48年3月一橋大学大学院経済学研究科博士課程経済学専攻を単位修得退学され、同48年4月広島大学政経学部助手に就任された。以来、平成21年3月に社会科学研究科教授として退職されるまで36年間にわたり、政経学部、経済学部ならびに大学院社会科学研究科に勤務された。その間、幅広い学識と高い識見によって学生の教育・指導にあたり、学界、教育界および社会に対して多くの有能な人材を送り出してこられた。特に経済学部や大学院で指導を受けたこれらの学生・院生たちは現在各界で活躍している。

この間、松水先生は、経済学部附属地域経済研究センターの初代センター次長・2代目センター長としてセンターの創設・発展に尽力された。さらに経済学部夜間主事、広島大学学生就職センター長、広島大学地域連携センター長、広島大学キャリアセンター長を歴任され、広島大学の発展と充実に尽くされた。

ご研究面においては、アメリカ経済論の分野で多くの業績を挙げられ、特に「アメリカにおけるIT革命の労働生産性への影響」に関する一連の実証研究を発表されて高い評価を得られた。また海外での研究活動としては、アメリカ合衆国のインディアナ大学ブルーミントン校、カリフォルニア大学デービス校において行われたアメリカの経済政策理念及び経済事情の研究を通じて、その後のアメリカの経済事情に関する理論的・実証的な研究面での進展に繋がる多くの成果を残された。教育面においても、経済学の専門分野だけでなく、キャリア教育の普及に先導的な役割を果たされ、学生の進路・職業選択、就職指導などのキャリア支援の分野でも多大の業績を上げられた。学会においては、日本経済政策学会、日本計画行政学会、日本経済学会、アメリカ学会、中・四国商経学会、中・四国アメリカ学会に所属され、学会の発展及び学術研究の促進に貢献された。社会においては、広島県企業局水道事業評価委員会委員長、広島県生活衛生適正化審議会会長、広島県信用保証協会外部評価委員会委員長、広島県公害審査会委員などを務められ、大学と地域の連携の推進を図ることにより地域社会の発展と向上に寄与してこられた。

今回のご退職は、経済学部および広島大学にとって誠に大きな痛手であるが、なんびとも如何ともしたい。広島大学経済学会は、今後も松水先生に温かい目で見守っていただくことをお願いするとともに、ここに深甚なる謝意をもって本論文集を捧げ、先生の益々のご健勝とご活躍を祈念する次第である。

平成21年11月

広島大学経済学会長

吹 春 俊 隆